

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ホスネツピタントを使用した制吐療法は外来化学療法 of 効率化に有用である
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2022. 10 月～2023. 8 月 当院でホスネツピタントを投与された症例 研究責任者；小林由夏	
③概要	
2022 年 10 月から 2023 年 8 月までに当院でホスネツピタントを投与された症例について内容 と現状を検討する。外来通院治療に関して、効率化に有用であることを確認する。	
④申請番号	(倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。)
⑤研究の目的・意義	外来治療の効率化をはかることができる可能性を考えられる。
⑥研究期間	2022. 10 月～2023. 8 月
⑦情報の利用目的及び利用 方法(他の機関へ提供される 場合はその方法を含む。)	2024 年 2 月の第 21 回日本臨床腫瘍学会にて支持療法部門として報 告する。
⑧利用または提供する情報 の項目	年齢、性別、治療内容、有害事象
⑨利用の範囲	この学会に限る
⑩試料・情報の管理について 責任を有する者・連絡先	小林由夏 ykoba.tky@gmail.com (内戦 5034)
⑪お問い合わせ先(照会先及 び研究への利用を拒否する 場合の連絡先)	小林由夏 ykoba.tky@gmail.com